

令和3年度第1回中央区緑化推進委員会 議事概要

【出席者】

学識経験者：鈴木委員長、木下委員
 区民・事業者代表：岸本委員、田中委員、加藤委員
 区職員：浅沼委員、三留委員（代理出席）、松岡委員
 事務局：水とみどりの課、(株)エイト日本技術開発

【配布資料】

- ・議事次第
- ・委員名簿
- ・座席表
- ・資料-1- 令和2年度緑の基本計画進捗実績シート
- ・資料-1- 令和2年度緑の基本計画個別施策の進捗実績一覧
- ・資料-1- 令和2年度緑の基本計画個別施策の進捗実績案内図
- ・資料-2- 中央区グリーンインフラガイドライン（案）の概要
- ・資料-2- 中央区グリーンインフラガイドライン（案）
- ・資料-2- 中央区グリーンインフラガイドライン 技術編（案）
- ・資料-2- 中央区グリーンインフラガイドライン 今後のスケジュール
- ・資料-3- 公園の魅力向上に向けた官民連携方針（案）の概要
- ・資料-3- 公園の魅力向上に向けた官民連携方針（案）
- ・参考資料 令和2年度第3回中央区緑化推進委員会 議事概要

令和3年度第1回 中央区緑化推進委員会の主な意見内容を示す。

1. 令和2年度緑の基本計画進捗実績について(資料-1)

鈴木委員長	① 年次評価において 評価が目立っているのは基本方針、普及啓発に関する部分となっている。この場で委員からご意見を頂きやれることからやっていく、また行政でやっていけないといけないことを考える必要がある。
	② 市民緑地認定制度の推進という取組項目があるが、中央区で候補となるような場所はあるのか。
田中委員	③ 屋上緑化面積はかなり拡大しているが、これは具体的にはどのエリアか。一つの大規模開発でまとまって発生しているというようなことがあるのかどうか。

2. 中央区グリーンインフラガイドラインについて(資料-2)

木下 委員	<p>① ガイドライン冒頭の1章で、P1-2で国交省、国土技術政策総合研究所などにおけるグリーンインフラの定義、P1-3では中央区としてのグリーンインフラの考え方がそれぞれ示されており、定義が複数あってちょっと混乱する。このような考え方が一般にあるとすれば、区の定義はこうですよというのを強調、明示できると良い。</p>
	<p>② P4-3の個人宅・店舗におけるグリーンインフラ導入イメージについて、こういった小規模な地先スペースでも設置できる雨水プランターという技術がある。国内外で事例があり、絵や技術編に入れられると良い。</p>
	<p>③ P4-17で国の支援施策(グリーンインフラ活用型都市構築支援事業)が取り上げられている。こういったものを活用して整備したグリーンインフラをきちんと維持管理し、作った後の効果が発揮されているかを評価していくことが重要になる。国でも評価の手法は現在検討中である。表彰制度などにもつながるが新設だけではなく長期的な維持管理を評価する視点を持つなど、維持管理を重視する枠組みが必要になると考えている。</p>
鈴木 委員長	<p>④ 表彰制度においては、グリーンインフラの考え方をよく整理してきちんと評価できる仕組みを作っていく必要がある。</p>
田中 委員	<p>⑤ 一般の方へグリーンインフラの浸透を図る上で、エディブルランドスケープを重視する観点が非常に重要になると考えている。水やりなどの作業にしても、「食」が関わってくると、皆さんの目の輝きや真剣度が違ってくる。</p>
鈴木 委員長	<p>⑥ 導入イメージとして示されている絵は非常に良いと思うが、できれば緑だけではなく、花や実、菜園では野菜があるイメージや色を強調すると良い。</p>
加藤 委員	<p>⑦ 緑の基本計画では地域別の方針が巻末で示されている。また、緊急輸送道路には耐火性のある樹種を植栽するなど地域ごとに機能面に着目して実施されてきた施策が示されている。グリーンインフラガイドラインにおいても、たとえば推奨される街路緑化のタイプであるとか、エリアごとに導入すべきグリーンインフラの方向性を示してもらえると非常に良いと思う。</p> <p>⑧ グリーンインフラチェックシートにおいて緑の基本計画の施策との関連などもわかると良いのではないか。</p>
木下 委員	<p>⑨ 各々の敷地で完結する取組については示されているが、加藤委員のご指摘のように、線的、面的にグリーンインフラを広げていくために何らかの方向性を示す必要があると思う。</p>
岸本 委員	<p>⑩ ガイドライン2章のP2-17には、緑被率と人口分布について記載があるが、人口当たりの緑の面積を載せるなどにより月島エリアでは休日になると公園が非常に混雑しているなどの地域の課題が示せると良い。</p> <p>⑪ 緑の重要性を示すのに、たとえば樹木一本当たりの機能、CO2の吸収量であるとか、そういったわかりやすい方法で示せると良い。</p>

鈴木 委員長	い チェックシートは今後使っていく中で、より使い勝手が良くなるようにどんどん改良していく必要がある。そのためにバージョン情報が必要で、今のガイドラインに載せるのが最初になる。今後の評価にもこのシートを使っていくので準備はしっかりやっていく必要がある。
-----------	---

3. 公園の魅力向上に向けた官民連携方針について（資料-3）

木下 委員	い リストで候補とした公園について、整備に当たって園内の樹木を大量に伐る必要があるような場合、地元から反発が出やすいことは考慮する必要がある。あまり鬱蒼としているような状態も好ましくはないが、批判があることは想定したほうが良い。
加藤 委員	い オリンピックでのメダル獲得などでスケートボードに関する需要は今後都市公園でさらに増すと考えられる。普通の公園であまり利用が多くなるとそれ以外の利用者と軋轢が生じる場合も有り、スポーツに特化したような公園を整備していく方向性はあるか。
岸本 委員	い スポーツについては中央区、特に晴海や月島のほうではレガシーのような考え方で取り入れることはできるのではないか。
鈴木 委員長	い 屋上公園や本の森ちゅうおうなどの公共施設が周辺に多く、桜川公園は利活用においてポテンシャルの高い公園といえると思う。